

## 技術士包装物流会 3月度講演会 講演要旨

日 時	2026年3月9日（月） 18:00-19:30
場 所	WEB配信
演 題	海外生活の中で感じた日本
講 師	日本食品包装協会 関西連絡事務所 小林 光
内 容	<p>日本と中国は同じ儒教を学びながら、日本は孟子の性善説、中国は荀子の性悪説を基盤としており、価値観が大きく異なる。ISOはヨーロッパの性悪説的思想を背景に「人はミスをする」という前提で仕組みを作るが、5Sは「人は本来善である」という性善説的思想に基づく。この違いは生産管理のアプローチにも影響する。</p> <p>中国で5Sを定着させるため、日本と同じ方法では継続が難しかったため、成果を評価し報酬と結びつける仕組みを導入した。生産効率やクレーム発生率を指標にし、毎月報酬で動機づけることで、5S意識の向上に成功した。国や文化に応じて柔軟に方法を変える重要性を学んだ。</p> <p>さらに日本の「もったいない」思想は、仏教由来の価値観として無駄を惜しみ、資源を最大限に活かす考え方であり、TPSや3R活動にも通じる。これは単なるコスト削減ではなく、品質向上や持続可能性を支える日本独自の生産管理思想である。</p> <p>そのような海外で感じた感覚をお話していきたい。</p>